

# 平成26年度 富加小学校教育活動の成果と課題

## ～児童・保護者アンケート、職員の自己評価結果より～

富加町立富加小学校長

元田 秀人

日頃より、本校の教育活動にご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。

本校では、職員が自己評価を行ったり、児童や保護者の皆様にアンケートをとったりして、本年度の教育活動を振り返り、それらに基づいて来年度の教育活動計画の作成を行っています。また、学校評議員の皆様にも評価を頂き、指導の改善に努めてまいります。

今年度の教育評価の結果と、それに基づく来年度に向けた取組について、以下の通りご報告いたします。

※「加重平均」による達成率の算定（学校評価は、児童・保護者、職員とも、各項目4段階で評価しています。）  
 ・評価点とその人数を乗じた和を、全員が最高票加点を出したときの数値に対する達成率で表しています。  
 達成率=  $[4 \times (4点の人数) + 3 \times (3点の人数) + 2 \times (2点の人数) + 1 \times (1点の人数)] \div (4 \times 総人数) \times 100$

			達成率
<b>1 授業の創造</b> ・分かる・できる授業の創造 ・個に応じた指導方法の充実	職員	① 算数科の授業を中心として、「読む」「聞く」「書く」「話す」などの基礎的な力が児童についてきましたか。(特に「話す」)	73.4%
		② 主体的な活動を通して、意欲的に楽しく学習を進める子に育ってきましたか。	75.0%
		③ 少人数指導等の個に応じた指導を行うことによって、児童の学力は向上しましたか。	76.6%
	児童	① 毎日の授業は、よく分かりましたか。	85.6%
		② 漢字や計算の学習に努力することができましたか。	83.7%
	保護者	① お子さんは、授業の内容をよく理解していますか。	77.9%

○85%を超える児童が、「毎日の授業がよく分かる」、80%を超える児童が、「漢字や計算の学習に努力することができた」と解答している。

▲算数科の授業づくりに重点を置いて全校研究を進めてきたが、特に「話す」ことを中心に、さらに基礎的な力の定着を進めることが課題である。

<来年度に向けて>

◎「平成27年度授業改善プラン」をもとに、日々の授業の中で、「見届ける」、「指導しきる」、「学び直し」をキーワードにしながら、更に授業改善に取り組んでいきます。家庭学習の充実を図るよう、家庭でのご協力をお願いします。

<b>2 人間関係の醸成</b> ・豊かな心情と道徳的実践力を育てる道徳教育の充実 ・温かい人間関係づくりの徹底	職員	④ 学年・学級での道徳的指導の充実により、時と場に応じたあいさつや行動ができる子に育ってきましたか。	71.9%
		⑤ 学年・学級の諸活動や異年齢集団活動・児童会等の充実により、「よいところみつけ」が進んでできる子に育ってきましたか。	78.1%
		⑥ 学年・学級の諸活動や異年齢集団活動・児童会等の充実により、毎日楽しく学校に登校できる子に育ってきましたか。	82.8%
	児童	③ 時と場を考えたれいぎ正しい行動ができましたか。	79.6%
		④ 友達や仲間の「よいところみつけ」をし、協力してなかよくすごすことができましたか。	84.8%
		⑤ 楽しく学校生活をおくることができましたか。	89.6%
	保護者	② お子さんは、学校生活を楽しく過ごせていますか。	87.7%

○85%を超える児童、保護者が、「楽しく学校生活をおくることができている」と解答している。

▲登校時の朝のあいさつは定着してきているが、地域の方へのあいさつ、時と場に応じた行動等が課題である。

<来年度に向けて>

◎道徳の時間を核にして、日々の生活との関連を図りながら、実践の積み重ねを大切にしていきます。

<b>3 生活習慣の育成</b> ・安心安全な学校生活づくり ・健康づくりと食育教育の推進	職員	⑦	学級・学年での指導や一斉下校・通学班会などを通して、交通ルールを守り、安全に登下校できる子どもたちに育ってきましたか。	69.1%
		⑧	安全教育(学級指導等)や情報教育(Netモラル等)の充実により、自ら様々な危険を回避できる子に育ってきましたか。	75.0%
		⑨	体育の授業や学級遊びなどの活動を通して、仲間とともに進んで運動や遊びをしようとする子に育ってきましたか。	87.5%
		⑩	適切な給食指導・食育を通して、好き嫌いをせず、残さず食べる子に育ってきましたか。	90.6%
	児童	⑥	分団の友だちと一緒にルールを守り、安全に登下校できましたか。	84.7%
		⑦	自分で危険なことに気づき、気をつけて生活ができましたか。	92.1%
		⑧	体育や青空の時間には、進んで運動したり遊んだりできましたか。	87.3%
		⑨	栄養バランスを考え、マナーを守って残さず給食を食べましたか。	89.1%
	保護者	③	お子さんは、自ら危険を回避し、安全な生活をおくることができていますか。	80.0%
		⑤	お子さんは、家庭で進んでお手伝いができていますか。	69.4%

○体育の授業や休み時間に、進んで運動や遊びをしようとする子が多い。(職員87.5%、児童87.3%)  
 ○好き嫌いをせず、残さず給食を食べる児童が多い。(職員90.6%、児童89.1%)  
 ▲通学班は、特に下校時、細かなトラブルや安全指導上の問題もあり、その都度指導している。(職員69.1%)  
 <来年度に向けて>  
 ◎安全教育(危機管理)については、昨年度より数値は上がってきているので、さらに防災計画、危機管理マニュアルの徹底を、全職員で取り組んでいきます。

<b>4 図書館の利用</b> 学校図書館の積極的な利用	職員	⑪	適切な図書館指導・読書指導を通して、進んで本を借りたくさん本を読もうとする子に育ってきましたか。	73.4%
	児童	⑩	進んで本を借りて、たくさん本を読むことができましたか。	77.8%

○80%に近い達成率となっている。(児童)  
 ▲昨年度の実態と同様に、高学年になるにつれ、図書を借りる冊数が少なくなっている。  
 <来年度に向けて>  
 ◎全校読書(毎週金曜)を、読書の「きっかけづくり」として、より一層充実させていきます。そのために、前日(木曜)の利用指導を積極的に行っていきます。

<b>5 こだわり活動</b> ・気持ちのよいあいさつ ・ピカピカ掃除 ・明るい歌声	職員	⑫	進んで気持ちのよいあいさつをしようとする子に育ってきましたか。	76.5%
		⑬	静かにすみずみまできれいにしようとする子に育ってきましたか。	77.9%
		⑭	明るく元気な歌声で歌おうとする子に育ってきましたか。	76.6%
	児童	⑪	進んで気持ちのよいあいさつができましたか。	83.1%
		⑫	だまってすみずみまできれいに掃除をすることができましたか。	82.4%
		⑬	明るく元気な声で歌うことができましたか。	83.2%
	保護者	④	お子さんは、家庭や地域で進んで気持ちのよいあいさつができていますか。	75.0%

○「3つのこだわり活動」については、どれも80%を超える達成率となっている。(児童)  
 ▲学校生活だけでなく、家庭や地域でも進んで気持ちのよいあいさつを広げていくことが課題である。  
 <来年度に向けて>  
 ◎気持ちのよいあいさつ、ピカピカ掃除、明るい歌声を、「富加小3つのじまん」として、さらに充実させ、絆の活動と関連させながら、継続的に取り組んでいきます。

6 生徒指導 信頼と愛情を基盤にして共感的理解に徹し、自己指導能力を育てる	職員	⑮	教育相談週間やQ-U等を通して、予防的教育相談の充実に努めましたか。	86.8%
		⑯	児童に寄り添い、愛情に裏付けられた厳しさをもって生徒指導に努めることができましたか。	82.4%
	児童	⑭	相談やなやみごとなどがあるときには、先生たちや家族・友だちに相談できましたか..?	81.8%
		⑰	間違ったことをした時には、先生たちはちゃんと注意してくれましたか。	93.5%
	保護者	⑥	学校の教師は、お子さんの話(悩みごと、相談など)をよく聞いていると思いますか。	79.3%
		⑦	学校の教師は、善悪の行動に対して、はっきりとした指導ができていますか。	84.7%

○毎週の職員打合せの際、生徒指導事例を交流しながら、全職員での共通理解を図り、早期対応に心がけることができた。  
▲教育相談週間やQ-U検査だけでなく、日常の学校生活全般を通して、教育相談体制の充実に努める必要がある。  
<来年度に向けて>  
◎さらに、児童に寄り添い、共感的理解に徹する生徒指導体制の充実を進めます。普段の声かけや、児童が発する「小さなサイン」を見逃すことなく、キャッチできるよう努めます。

7 地域に開かれた学校経営 ・説明責任 ・理解・協力・連携 ・共通理解 ・保護者対応 ・安全・安心	職員	⑰	学校の教育方針や教育活動の様子を、懇談会や学年だより、HP等を通してわかりやすく伝えるよう努めましたか。	79.7%
		⑱	地域や保護者の協力を得ながら、地域の良さを生かした教育活動を心がけましたか。	79.7%
		⑲	保護者や地域の方に、明るい挨拶や丁寧な話し方、対応を心がけましたか。	89.7%
		⑳	管理が適切になされ、安全で学びやすい環境になっていますか。	85.3%
	保護者	⑧	学校は、教育方針や教育活動の様子などを、懇談会や学校・学級だより、ホームページ、町広報などで、分かりやすく伝えていきますか。	85.9%
		⑨	学校は、明るい挨拶や丁寧な話し方・対応(訪問・来校時・電話等)をしていますか。	87.5%
⑩		学校は、安全で学びやすい環境になっていますか。	87.1%	

○昨年度の反省を生かし、学校体制で丁寧な対応に努めてきた。保護者や地域の方々への対応(訪問・来校時・電話等)については、85%以上の達成率となっている。(職員、保護者)  
▲教育活動の紹介については、さらに分かりやすく、丁寧な対応に心がけていく必要がある。  
<来年度に向けて>  
◎今後も、全職員で丁寧な対応に心がけていきます。保護者の方々に安心していただけるよう、より分かりやすい情報の発信に努めていきます。

8 絆の日	職員	⑳	「絆の日」の取り組みは、生命を大切にすることへの意識の高揚につながっていますか。	83.8%
	児童	⑯	絆の日にかかわる学びを通して、自分の命を大切にすることや、仲間を大切にしようとする気持ちが高まりましたか。	92.8%
	保護者	⑪	学校は、命を大切に教育(絆の日の取組など)を実践できていますか。	86.2%

○「絆の日」にかかわる取組が、児童にとって定着してきている。毎月11日の絆の日を軸に、自他の生命を尊重し、思いやりの心を育む取組として、全教育活動と関連づけながら実践できた。  
<来年度に向けて>  
◎「絆の日」の実践を、「富加小3つのじまん」と関連づけながら、新たな「絆の活動」として、取り組んでいきます。児童会活動にも意図的に位置付け、児童のより主体的な活動として、進めていきます。